

写真で振り返るエコ・ギャラリー



▲テントも「エコ」

仮設テントは閉館後に解体され、他のイベントに使用されま
す。また、テントの幕材にはケ
ナフが使用されており、最終
的には紙に生まれ変わります。



▲エコ・ギャラリーの展示概観

3ヶ月の開催期間中、地元の
洞爺湖や北海道内各地はもと
より、日本国内各地、そして海
外からも多くの方に来場いた
だきました。



▲再生ダンボールで作られた 展示

すべての展示物は再生ダン
ボールを使用して製作。最終
的には資源としてリサイクルさ
れます。閉館後、展示は別の
施設にて利用予定です。



▲外来種と生態系

日本の在来種であるニホンザ
リガニを駆逐する恐れがある
として、洞爺湖でも問題になっ
ているウチダザリガニを中心
に、外来種が生態系に及ぼす
影響を詳しく解説しました。



▲二酸化炭素と地球温暖化

日本人が1日に排出する二酸
化炭素の量6kgを立体的に表
現した展示。6kgの二酸化炭
素がバランスボール38個に相
当することに、驚く入場者も多
く見られました。



▲「1人1日1kg CO2削減宣言」

暮らしの中の小さなアクショ
ンを積み重ねることにより、CO
2の排出削減の努力を誓う「1
人1日1kg CO2削減宣言」。8,21
0人の来場者がエコ・ギャラ
リーにおいて同宣言を行いました。



▲「エコぼん」作り

立体のペーパークラフトの本
を組み立てながら、環境につ
いて学ぶ「エコぼん」を館内で
配布。多くの子どもたちがス
タッフと一緒に工作を楽しみま
した。



▲企画展「動物の形態を愉 しむ展」

円山動物園との共催により、
北海道の希少野生動物の
絵画、彫刻展を行いました。



▲企画展「美しい日本の自 然」

日本自然科学写真協会の協
力により、日本を代表する国
立公園の壮大な景観や、穏や
かな里山の風景、動植物を写
真60点により紹介しました。



▲オープニング記念式典

環境副大臣、地元自治体関係者、ミス・ネイチャーも参列したオープニング記念式典。



▲オープニング記念「雪合戦」

地球温暖化の進行により、存続が危ぶまれかねない雪合戦。地元農協の雪蔵で保存された本物の雪を使用しました。



▲洞爺湖八景フォトサイクリング

景観の優れた場所として環境省が選定した「洞爺湖八景」を自転車で巡る写真撮影会。



▲ウチダザリガニ駆除体験

洞爺湖における外来生物であるウチダザリガニの問題を広く知っていただく駆除体験イベントを開催。



▲中島探索・エゾシカ観察会

野生のエゾシカの生態を観察することにより、自然と動物の関わり合いを考える中島探索ツアー。



▲洞爺湖自然体験キャンプ

豊かな自然に触れ、環境について家族で考えるきっかけをキャンプを通じて提供しました。



▲水辺の生き物探し

自然体験キャンプの1日目には、湖岸に生息する魚類をタモ網で捕まえ、親子で観察。



▲動物折り紙講習会

自然保護官補佐による、動物折り紙の講習会。立体的でユニークな折り紙作品が多く作られました。



▲金比羅山火口散策

火山の驚異的なパワーを実感すると同時に、噴火から8年が経過し植生がどのように変わってきたかを観察。



▲洞爺湖カヌー体験

水辺で遊ぶことの楽しさを知ると共に、カヌーや水辺での安全な遊び方について正しい知識を身につけるイベント。



▲水辺の生き物探し

カヌー体験の一環として、生き物探しを通じて洞爺湖の豊かな自然に触れるきっかけを提供。



▲西山火口観察ウォーク

火山がもたらす変化は必ずしも悪い影響ばかりではなく、畑作に適した地質といった、火山の恵みについても考察。